

運協定期委員会③

12月7日（水）11時～ 地本会議室



（前号からのつづき）
駅職場より（車椅子）
 車椅子対応も増えたが（駅によって状況や対応も違うので）助勤の人は覚えるのが大変。
 一人勤務の早朝、重なるケース（同じ時間帯に複数の利用者、上りと下りに分かれることもある）が、ずっと続いている。千葉みなどでは、内房外房の列車が遅れた場合には、片方の列車を停めておくようにという会社の指導に不安を感じながらあせってしまう実態。

駅職場より（教育）
 南船橋駅は毎年2名ほど新人が来る教育駅。

駅員がいないと、勝手に動いて乗ってしまう車椅子旅客がいる。車掌が指令に連絡し、降車駅での対応となるが、現在のルールを無視した非常になわがまな行為である。（要員数が実態に追いついていない現状でそこが一番の問題だが、現時点でやってはいけないことがまかり通ってしまうことも心配だ。他の線区でも勝手に最後部まで来て、車掌が乗せてしまったという報告もあった。状況によっては断らなければならぬという声も当然である）

不平不満も共有化し、改善しよう！

（原因は分からないが、ここ数年）色々なことを覚えるペースが遅いのが気になる。教育を受ける側の質の低下を感じる。会社側の施策が一方的に導入されているが、ほとんどがタブレットに送って終りという教育不足で、現場は四苦八苦している。トラブルがあつて、会社に問い質しても全て現場まかせ。窓口閉鎖なども大した教育もなのまま始まった。人それぞれで対応が異なるのも問題だ。助勤者が来ても、教育が不十分でわからないまま仕事をし、ストレスがたまる一方だ。

国労

蘇我運輸区分会ニュース

駅職場より（勤務）
 面談では、親の介護のため近くの駅（銚子近辺）で日勤を希望したら、左倉分会で一番遠い都賀駅になり、非常にきつい思いをしている。松岸で退職した人がいるが、そこに入れないものか。
 JESSは本体と違って、管区長が何もやらない。券売機も窓口の対応もしない。（一般社員と同じ仕事をすると決まっているようだが・・・）

駅職場より（その他）
 （CTS清掃組合員のいる分会から）NEXがフル稼働し、仕事が急激に増えた。折り返し10分で清掃、椅子返し、忘れ物対応等々でキツイ。相次ぐ合理化で、事務室内の時計まで撤去された。蛍光灯の球切れも1本2本では交換してくれない。ローカル駅ではホームが暗い。時刻表をよこせという声も。入場券140円でトイレ使用し、払い戻しでのトラブルで警察沙汰にも。公共交通を守る闘いでは、他労組も集会を開き、地域住民を巻き込んだ運動をしており「一緒にやろう」と声をかけられているが・・・。



☆ 終了後、久しぶりに会えた習志野運輸区の名雪さん（左上の写真）と昼食にいきました。